令和６年法科大学院入試の合格体験記

１．プロフィール

氏名（又はイニシャル）
〇〇大学〇〇学部（任意）
在学〇年（又は卒業）（必須）
外国語試験のスコア（任意）
学部成績（必須）
受講講座（必須）
合格した法科大学院及びコース（全額免除の方はその旨も記載）（必須）

２．はじめに

司法試験や法曹を目指すに至った経緯・動機、加藤ゼミナールの講座を受講するに至った経緯・理由、その他について、ご自由にお書きください。

３．私がとった勉強方法

加藤ゼミナールの講座・教材の使い方も含めて、ご自身がとられた勉強方法について具体的に紹介して頂きたいです。

教材の使い方を具体的に示すために、教材の写真を提出して頂けると有難いです（こちらは、任意です）。

４．講座・教材が法科大学院入試にどのように役立ったか

法科大学院入試の出題内容と講座・教材の内容との関連性なども踏まえて、講座・教材が法科大学院入試にどのように役立ったかについて、記入して下さい。

なお、下記の例１～３は記載内容の例にすぎませんので、皆さんが「ここを紹介したい」と思うことについて自由に書いて頂ければと思います。

例1：出題内容との関連性について

刑事訴訟法では、①～（論点名）、②～（論点名）が出題され、いずれの論点も〇〇テキストでAランク論点に位置付けた上で過去問や参考判例を使った答案例や論述例まで紹介されていたため、周りに差をつけることができた

例２：方法論について

全科目共通の方法論（書き方、読み方、考え方）が役に立った

科目分野ごとの方法論（書き方、読み方、考え方）が役に立った

例３：教材について

テキスト・論証集には新しい判例の理解や受験界通説、試験傾向に合った理解が反映されているため、知識をブラッシュアップするために有益だった

テキスト・論証集にはランク付けがあるとともに、マーク指示もあるため、直前期に適切なメリハリ付けをしながら総復習をすることができた

講師がいちから教材を作成しているため、内容面について信頼できた

５．学部成績

学部成績について、加藤ゼミナールの講座・教材の有用性なども含めて、ご自由にお書きください。

６．最後に

法科大学院入試の試験前・試験中・試験後・発表前後の心境、今後の抱負など、ご自身が合格体験記を読む方々にお伝えしたいことをご自由にお書きください。